広報 高山の文化

一般社団法人 高山市文化協会 発行

No.174 2016.3.2 Culture in Takayama

高山市昭和町1丁目　高山市民文化会館内
Tel.34-6550　Fax.34-6877
メールアドレス●mail@takayama-bunka.org
ホームページアドレス●http://www.takayama-bunka.org
（文化会館の催し物案内はこのホームページでご覧ください。）

第24回 高山市近代文学館企画展

歌人・高山市名誉市民
牧野英一博士・良三博士兄弟

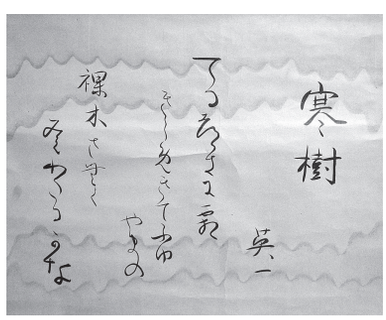
三月十二日(土)・十三日(日)

高山市文化協会では、郷土の文化を支えてきた文学者の経歴と功績を紹介し、今後の文学の発展に寄与する目的で、毎年二回「近代文学館企画展」を開催しています。

今回は、高山市名誉市民である法学者の「牧野英一博士・良三博士」両氏をご紹介します。

牧野英一博士は、刑法学者として有名ですが、漢学、国学にも秀で、昭和三十三年の宮中歌会始において、佐々木信綱門下の歌人として召人に選ばれ、歌を披露しました。また、「語学の神様」とも呼ばれ、七ヶ国語を話し、外国文学を原文で読みこなすほどの人物でした。

（佐々木信綱＝歌人・国文学者。東京帝国大学の教壇に立ち、『万葉集』の研究や和歌・歌学の史的研究などに打ち込んだ。与謝野鉄幹らと新詩社をおこし「竹柏会」を主宰、機関誌『心の花』を創刊する。）



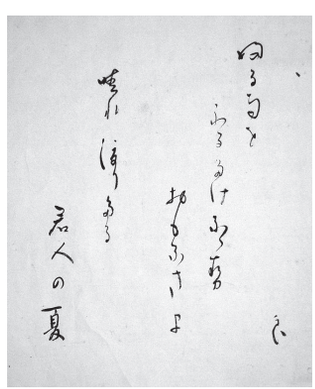
牧野良三博士は、飛騨初の大臣として知られていますが、兄英一博士と同様に和歌を嗜んでおり、飛騨短歌会の発行する雑誌『飛騨短歌』などに寄稿していました。歌舞伎や新国劇なども好み、赤坂の芸妓と芸の本筋について語り合うという一面も持っていました。

今回の展示会では、両博士の遺された遺墨などをご覧いただきます。

◇日時　三月十二日（土）～十三日（日）　午前十時～午後五時（最終日は午後四時まで）

◇会場　高山市図書館「煥章館」一階生涯学習ホール

◇入場無料



近代文学館講演会

法学者として著名な両博士の、歌人としての功績について講演をしていただきます。

歌人・高山市名誉市民
牧野英一 博士
良三 博士兄弟

日時　平成28年 **3月19日(土)** 午後2時～

会場　高山市図書館「煥章館」1階生涯学習ホール

講師　高山市元助役　**梶井 正美**氏

定員　100名

入場無料

問い合わせ　(一社)高山市文化協会　℡34-6550

文化協会加盟団体紹介
【全日本写真連盟飛騨支部】

支部長 直井 隆義

一枚の写真には、ただ記録として残しておくだけではなく、昔の思い出やその日その時の物語が蘇ってくる奥深いものがあります。

私たちのクラブは、昨年創立六十五周年を迎えた伝統と歴史のあるクラブです。現在会員は二十二名で、三十代から七十代までと幅広く、相互の親睦を深めるとともに、楽しく写真技術の向上に努めています。

主な活動は、岐阜県本部主催の撮影会と写真展への参加、高山文化フォーラムへの出品、当クラブでの写真展と撮影会、月例研究会の開催、各種フォトコンテストへの参加応募などです。一昨年は恵那市の「妻籠宿」、昨年の秋には「珠洲のきりこ祭り」「輪島の朝市」「米田の千枚田」等、写真撮影を兼ねた楽しい一泊旅行を行いました。

始めたばかりの方にも、カメラの扱いや撮影、プリントの仕方など易しくお教えします。一緒に写真を楽しめる方をお待ちしています。

「岡目一目」

飛騨では「山菜採り」と言うより「菜摘み」という言葉の響きの方がいい。

二十日は春分。法事の時などに配る「おけそく」は「お華束」と書くらしい。ほどよく小さい丸い餅は、一包みに七個入っている。あのほどよい小ささが、しんみりと故人を偲ばせるのにいい。

草餅や豆餅ではダメかと餅屋さんに聞いたら、白川村の人が昔、草餅でと注文したことがあるという。

喫茶店のカウンターで隣にいた女の人に聞いたら「食べる方にしたら草餅の方がうれしいな」と言ったので、法事のおけそくは草餅にしてもらった。

新婚の時、菜摘みなどしたことがない妻が、生まれて初めて摘んだヨモギを持て余して、実家に送ってしまった。しばらくしたら、草餅になって送り返されてきた。酒代でピーピーしていた家計には潤いとなった。

なんてことを思い出しながら、妻の七回忌のおけそくを草餅にした。次の法事には豆餅にしようかなと思う。

春の野に若菜摘みにと来し我は……か。

春が近い。

〈ガンモンモ筆〉

高山市文化芸術鑑賞事業　○主催　高山市・(一社)高山市文化協会　○お問い合わせ　(一社)高山市文化協会(tel.0577-34-6550)　mail@takayama-bunka.org

上妻宏光

Hiromitsu Agatsuma

<演奏予定曲目>
●竹田の子守唄●見上げてごらん夜の星を
●My Favorite Things●津軽じょんから節　他
※曲目は変更になる場合があります。

"Standard Songs" 2016
～三味線とPIANOで奏でる名曲達～

6歳より津軽三味線を始め、幼少の頃より数々の津軽三味線大会で優勝するなど、純邦楽界で高い評価を受け、2001年『AGATSUMA』にてメジャーデビュー。伝統的なジャンルに留まることなく、国内外において数多くのミュージシャンとのセッションを重ねる。舞台音楽や世界各地でツアーを行うなど幅広く活動。"津軽三味線の伝統と革新"を追求し、様々なジャンルを超越した創作を続ける姿勢は国内外から高い評価を得えている。2013年安倍内閣総理大臣主催の「TOKYO2020公式夕食会」、「第5回アフリカ開発会議 公式首脳晩餐会」において、日本を代表して演奏を披露。2014年津軽三味線奏者としては初めて、市川海老蔵の本公演に作曲、演奏にて参加。その後市川猿之助など歌舞伎役者との交流を深めている。また日本全国の小学校において日本の伝統音楽の魅力を伝える授業を行っており、次世代への文化伝承にも力を注いでいる新世代津軽三味線奏者の第一人者である。

平成28年
5/13(金)　午後7時開演　午後6時30分開場

高山市民文化会館
小ホール　高山市昭和町1丁目188-1

チケット料金(税込)　全席指定
〔一般〕2,500円〔メセナメイト会員〕2,000円
〔ジュニア(18才以下)〕1,000円　※未就学児入場不可

チケット発売　3月5日(土)午前10時～

プレイガイド
高山市民文化会館　tel.0577-33-8333
飛騨市文化交流センター　tel.0577-73-0180

市原悦子
朗読とお話の世界

平成28年
5/22(日)　午後2時開演　午後1時30分開場

こくふ交流センター
さくらホール　高山市国府町広瀬町880

チケット料金(税込)　全席指定
〔一般〕2,000円〔メセナメイト会員〕1,500円
〔ジュニア(18才以下)〕500円　※未就学児入場不可

チケット発売　3月26日(土)午前10時～

プレイガイド
高山市民文化会館　tel.0577-33-8333
さくらホール管理事務所(2F)　tel.0577-72-4480
飛騨市文化交流センター　tel.0577-73-0180

20年間にわたる長寿番組
「まんが日本昔ばなし(TBS系)」でお馴染みの
市原悦子が贈る、心洗われる時間。
民話や童話などを、トークを交え独特の声と心に響く
感情豊かな語りでお届けします。